

第18回 Pitch to the Minister懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：平成30年12月17日（月）10：00～11：00
- 場所：中央合同庁舎8号館10階 平井国務大臣室
- Pitchテーマ：地球をデジタル化 全世界デジタル3D地図が変える未来
- 招へい者：若松 健司 株式会社NTTデータ シニア・スペシャリスト
- 出席者：平井国務大臣、幸田内閣府審議官、行松審議官（宇宙）、高倉参事官（宇宙）、森参事官（宇宙）、八山参事官（IT）、柴崎参事官（IT）、堀内参事官（科技）、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 若松氏からの説明

- ここ数年で、地上数百kmの高度に位置する衛星から撮影した画像データのみから、より高精細なビルディング3D地図を作成できるようになってきた。3D地図は、これからの自動運転技術下支えしていく。
- 技術のブレイクスルーとしては、次の3点がある。①ビッグデータ処理技術により、高精度な3D地図が実現②AI技術により、地物情報の自動抽出が実現③大容量の衛星データのクラウド上での処理が実現。
- NTTデータで整備する全世界デジタル3D地図AW3D[®]は、中国やネパール、ホンジュラス等、世界中で利用されている。用途としては防災利用が多く、例えば大地震後の復興計画のためのハザードマップ作成や、地滑り災害の解析・対策等への利用実績がある。
- 今後、3D地図は「見る」3D地図から「使う」3D地図へと変化していくため、多様なニーズに応えられるアプリケーションの提供が肝要になっていく。NTTデータでは、パートナーと連携しながらグローバルに展開していく予定。

3. 主な質疑応答・議論

- スマートシティ構想への応用を含む建設系や、3Dのリアルな街中を再現することによるエンタメ系への活用、さらには安全保障分野への活用等、様々な可能性がある、との意見があった。
- ダイナミックマップがカバーしていない地域において、その他の様々なデータと組み合わせながら自動運転に活用していくとよいのではないか、との意見があった。
- 3D地図を測量作業に適用できないか検討するべきではないか、との意見があった。

（了）

（速報のため事後修正の可能性あり）